

開かれた漁業・漁村をめざして
－ 漁師さんの船に乗ってみませんか？ －

日南市漁業協同組合青壮年部
部員 中野 利勝

1 地域の概要

私の住んでいる日南市は宮崎県の南部に位置し、国立公園に指定される日南海岸は、亜熱帯性の植物に彩られた南国色豊かな景観を呈し、観光名所も豊富なことから、過去には新婚旅行のメッカとして有名で、また現在でも本県を代表する観光地の一つである。

2. 漁業の概要

日南市漁協は、組合員数387名、平成12年の属人水揚げ高は37億円でカツオとマグロ類が約9割を占めている。また、当漁協は平成5年に市内の3漁協が合併し、本所を油津に、鵜戸と大堂津は支所として現在に至っている（図1）。なお、所属漁港は合計7港あり、私の仕事場となる鶯巣漁港は最も北に位置する小規模な港である（写真1）。私たちの漁業の中心はイセエビを対象とした磯建網で、その漁閑期には曳縄漁や小型定置網、またウニや海藻類の採取を行っている。

3. 研究グループの組織と運営

漁協青壮年部は、漁協合併後まもなく結成され、それぞれの港から現在66名の部員で構成されている。これまで各種の視察や研修、また地元イベントを通じて主に魚食普及をテーマに活動をしてきた。しかし、部員達はそれぞれ利用する港が異なり（図2）、地理的にもかけ離れていることもあって顔をあわせる機会が少ない現状にあり、また漁業種類も、部員の約半数がカツオ・マグロ漁業で、その他は小型船での曳縄や延縄、更に小型定置網や磯建網と様々であるため漁業に関する共通の研究テーマは見つけれずにいる。

4. 研究・実践活動課題選定の動機

私は、今から18年前、父親の家業を受け継ぐ形でイセエビを対象とした磯建網をメインに、春先はカツオを対象とした曳縄、また夏場にかけては小型定置網を営んでいた。しかし、漁獲量の減少と魚価の低迷から、漁業経営は順調と言えるものではなかった。そこで、春先の曳縄漁からイセエビの建網が始まるまでの春から夏場にかけては、時間的に余裕があることから何かできることはないかと考えていた。

5. 研究・実践活動の状況及び成果

まず、思い立ったのは6～7月に収穫できるムカデノリを生かそうということである。ムカデノリは、正式名「トゲキリンサイ」という日南海岸特産の海藻で（写真2）、昔は地元の多くの家庭で加工され食されていた。しかし、手間がかかることもあって現在作る

家庭は少なくなっている。そこで私たちは、伝統の味を残していきたいという思いと、地元以外の方々にも知っていただきたいという思いで、5年ほど前に味噌漬けの加工品生産を妻と共同で始めた。作り始めた当初は、地元のイベントや物産展に少量ずつ出品させていただく程度であったが（写真3）、保健所の許可をとって正式に加工販売を始めてからは、地元の地場産品の協会にも加盟し積極的にムカデノリの宣伝広告に努めている。更には、県が発行する広報誌「I LOVE みやざき」から取材を受け、紙面に載せていただくこともできた（資料1）。このような宣伝効果もあって、現在ではスーパーや大手デパート、また観光名所等5カ所に出品させていただき、地元はもちろん、地元以外の方々にも少しずつアピールできるようになったと思う。

一方、3年程前に「ブルーツーリズム」という言葉を初めて耳にした。調べてみると、都市部の住民が漁業地域を訪れ、漁業を体験したり漁業者との交流を楽しむという新しいレジャーの形ということが分かった。私はこのことを知ってから、自分たちでも何かできるのではと考え、周りの漁業者達に話を持ちかけた。鶯巣漁港は、宮崎市の市街地から車で1時間程の場所にあり、そもそも観光地として歴史ある日南海岸にあることから、人を呼び入れるには適した場所だと思ったからである。しかし、漁業者達の反応はいまひとつであった。そこで、私一人でもできることとして、妻の発想をもとに漁船での遊覧クルージングを企画した。

平成11年に遊漁船業の許可をとり、手作りのチラシを作って活動を開始した（資料2）。「漁師さんの船に乗ってみませんか？」をキャッチフレーズに、景色の美しい日南海岸を海の方から見ることで今までとちがった感動を与えられるのではという考えであった。最初は、あまり問い合わせもなかったが、地元の月刊広報誌やタウン誌に載せていただいたところ、徐々に問い合わせがくるようになった。また、シーガイアにある体験リゾート情報館のガイドブックにも載せていただいた（資料3）。最近の観光目的は、ただ見たり食べたりするだけでなく、ものを作ったりレジャースポーツをしたり、また動物とふれあったり日頃味わうことのできない「体験もの」が人気があるようである。実際、私の船に乗船された一般のお客様の声を聞くと、美しい景色はもちろんであるが、漁船に乗ること、また白い波しぶきを肌で感じながら海を走っていること自体が初めてで感動するとのことである。

ところで、小中学校の教育体制も、最近では地域学習というような自主性を重んじた総合的な時間を取り入れていると聞いている。ここでも「体験もの」が人気があるようである。一昨年前から、地元小学校からの依頼で、5、6年生の数名を受け入れるようになり、漁業の話をしたり、乗船体験をさせるようになった（写真4～5）。子供達のいきいきとした顔を見るとますますやる気がわいてくるし、地域活動にも貢献することができて私自身喜びも経験している。

また、最近では修学旅行でも「体験もの」を取り入れる学校が増えているということで、宮崎市の観光協会では修学旅行を対象とした「体験学習ガイドブック」という冊子を発行している。機会があってこのガイドブックに載せていただくと、さっそく大阪の中学校から問い合わせがあり修学旅行生受け入れの依頼があった。これには船の定員の問題もあり色々悩んだが、同じ鶯巣漁港ですでに釣り客を対象に遊漁船業の許可をとっている仲間の

協力が得られ、昨年5月に修学旅行生29名の受け入れが実現した。

体験学習として、まず漁船での遊覧を行い、沖では船づくり体験を行った。生徒達はほとんどが船づくりは初めてで指導や世話が大変だったが、実際に魚が釣れると歓声を上げて喜んでいる様子であった。おかに上がってからはウニ割り体験をさせ、そして生徒達が自ら釣り上げた魚をおかずに昼食をとった。食事が終わって体験学習は終了したが、初めての体験に生徒達の満足げな表情がうかがえ、最後にお礼の言葉をいただいた時には、本当にホッとした。私にとっても、初めての経験で不安があったからである（写真6～11）。

6. 波及効果

このように、ブルーーツーリズム活動を始めてみて、都市住民に対し漁業や漁村の姿を伝えることができたし、将来を担う子供達に海や魚、また漁業に少なからず関心や興味を持たせられたのではないかと考えている。また、地元新聞社からも取材を受け、私たちのこれまでの漁村地域活動について記事にいただいた（資料4）。この記事が周りの漁業者にも反響を呼んだのか、今では、他の青壮年部員から「手伝うことはないか」とか「いつでも協力する」との声があがってくるようになった。

7. 今後の課題や計画と問題点

私たちが行っている乗船体験等の受け入れは、大人達のレジャーにとどまらず、子供達にとって海や魚に関心をもってもらえる貴重な体験だと考えており、今後も地道に活動を続けていこうと思っている。また将来的には、体験希望者が宿泊できる環境を整えて、「朝早くから漁師の一日の生活を体験してほしい」とも考えている。実際に漁を体験し漁師の仕事を間近に見ることで、漁業というものを少しでも理解してくれればと考えている。

また、今回の修学旅行生のように更に多くの受け入れ希望者があった場合、今現在協力してくれるという青壮年部員が何名か出てきた。今後、漁協や行政のバックアップが得られれば、今以上に賛同してくれる漁業者も増え、充実した青壮年部活動、また漁村活動につながると思う。

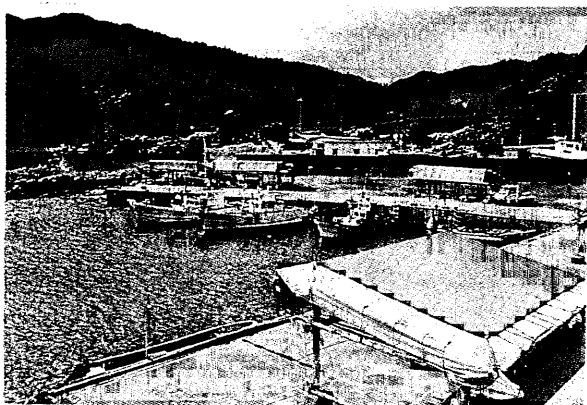


写真 1

おうさ
鶯巣漁港

（日南市伊比井、H13.9）

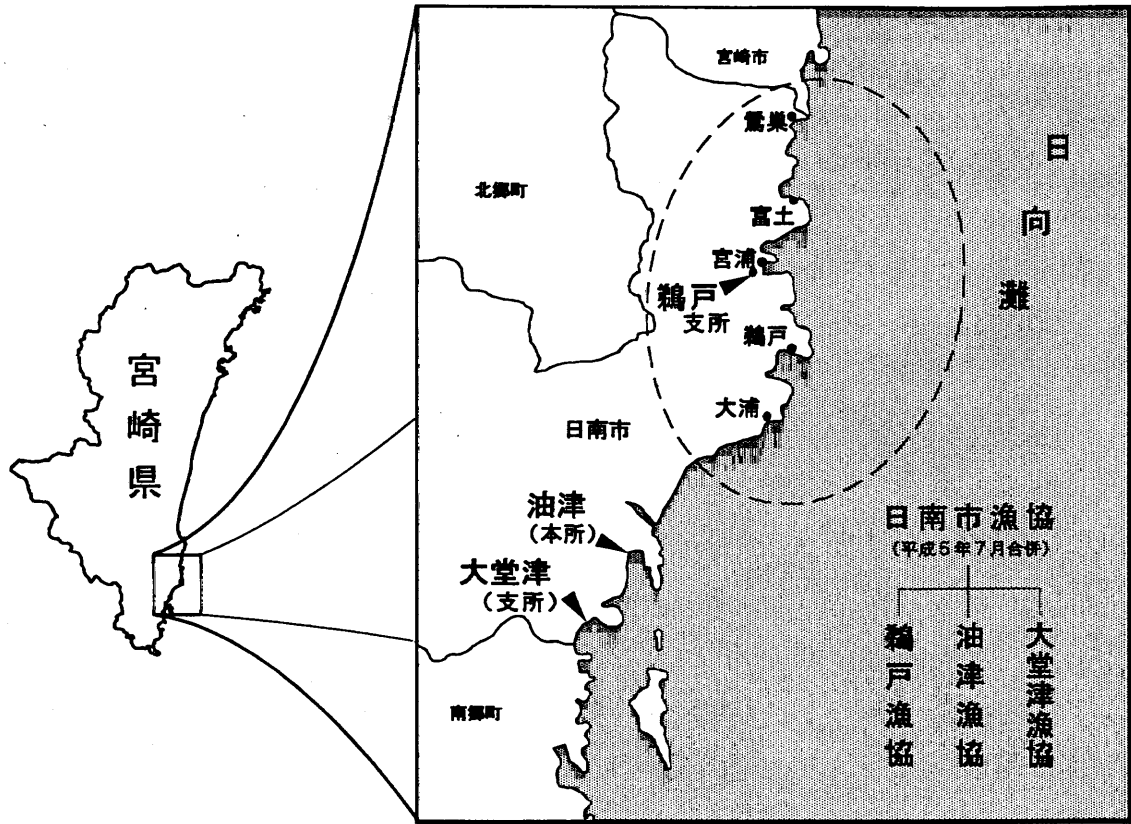


図1 日南市漁協の位置図

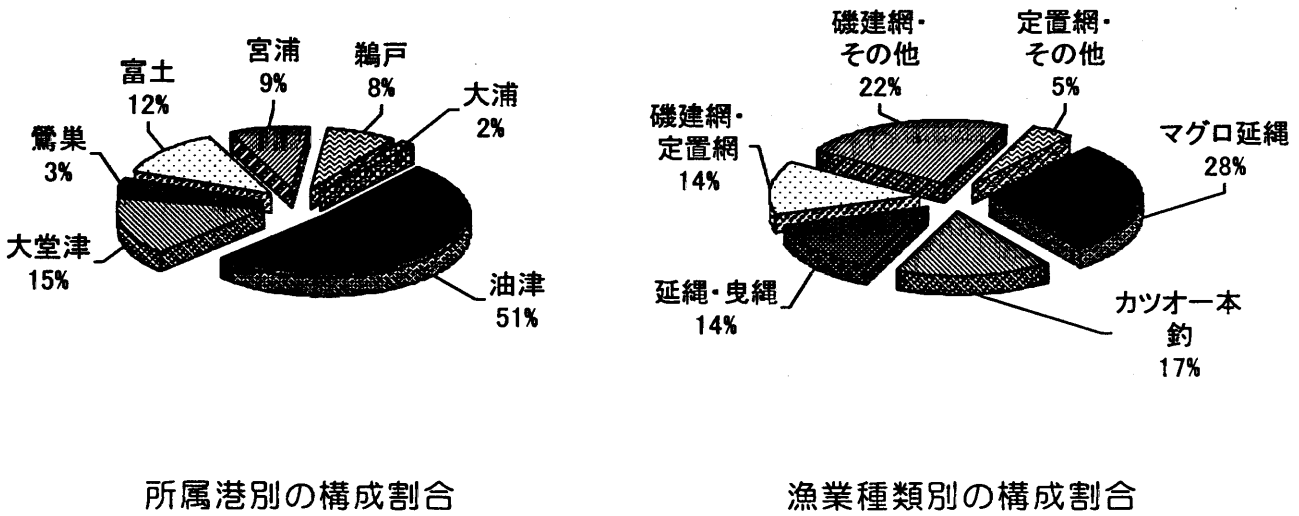


図2 日南市漁協青壮年部の概要 (平成13年度)

「海に学ぶ」乗船体験 (日南市立潮小学校)

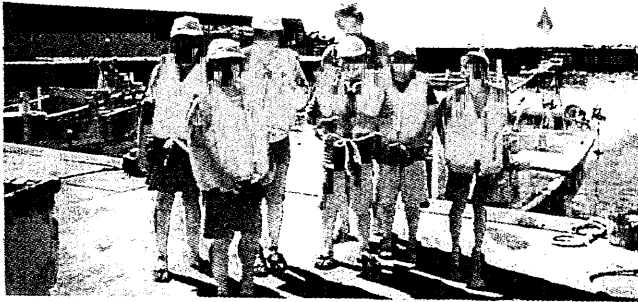


写真 4

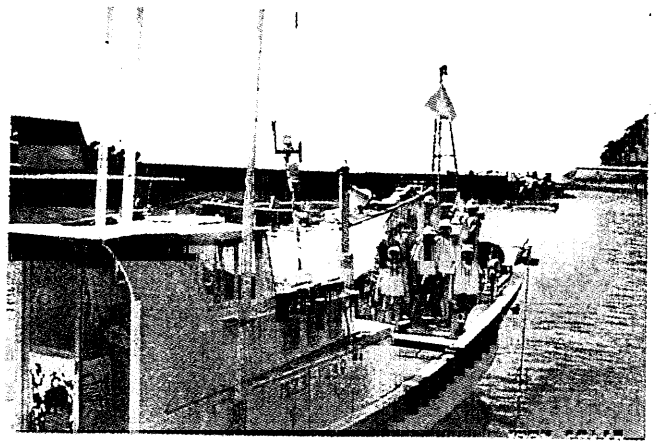


写真 5

「漁業体験学習」修学旅行生の受け入れ (大阪府立玉川中学校)



写真 6 受け入れ準備



写真 7 乗船前の注意

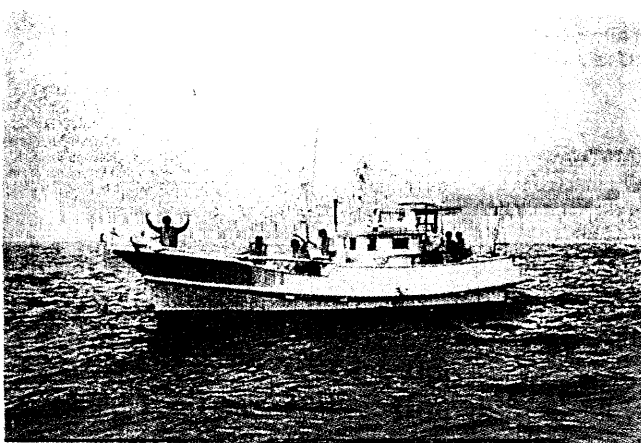


写真 8 乗船中の生徒達



写真 9 船づくり体験

漁師さんの船に乗ってみませんか？

自休港の近くの海をぐるっと一周する
 海の日の海岸をスリッパで歩く
 時間は10分程度です
 場所は、日南市と宮崎市の境
 鷹巣漁港です
 (天候不良時は中止です)



資料2 遊覧クルージングのチラシ (平成11年5月、自作)

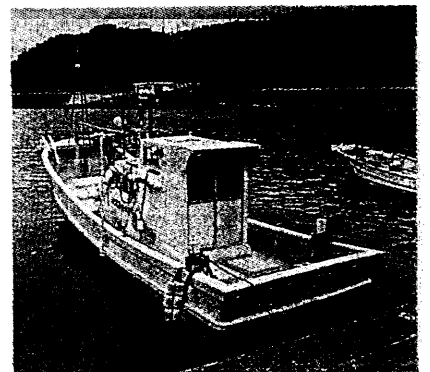


体験リゾート情報館
 「宮崎・遊ステーション」

漁師さんの船に乗ってみよう！

港の近くの海をぐるっと一周。海から見る日南海岸も素敵です。また、フィッシングもチャーターで受け付けます。

- 実施場所 日南市鷹巣漁港
 - 実施日程 5月～8月
8:00～17:00(約30分)
 - 参加料金 500円
チャーター 25,000円
(釣り具等は各自ご持参ください。)
 - 定員 10名(実施人数4名より)
 - 申込締切 前日19:00
- ※宮崎駅より車で約80分、
 JR日南線伊比井駅より車で約5分



資料3 観光ガイドブック (平成13年2月発行)

